

# 新人大会に向けた感染拡大防止ガイドライン

香川県高体連 相撲 専門部

## 1 大会を開催するにあたって

大会の開催に際しては、参加者を中心とした関係者全員の安全・安心を最優先し、実施の可否等について慎重に判断し、実施する場合は十分な感染防止対策を行うこととする。

- (1) 大会等が開催される場所の適切な感染予防対策等の実施
- (2) 密閉空間・密集場所・密接場面等の感染リスクが高い状況の回避
- (3) 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

以上3つのリスクへの対応を整えた上で実施する。

開催直前であっても、その時点の全国や県内の感染状況に応じて、大会の急な中止もあり得る。

## 2 大会中の具体的な感染防止対策

### (1) 基本的な感染対策

- ア 競技会場等において、手洗いや咳エチケット（マスク着用）などの基本的な感染症対策を徹底する。
  - イ 会場出入口には消毒薬を設置し、トイレに石鹸等を準備する。
  - ウ 主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので定期的に拭き取る。
  - エ 密閉空間を避けるため、練習土俵の窓は開けておくなど外気を入れて換気を行う。空調や衣服による温度調節を行う。
  - オ 密集場所を避けるため、会場内での人との間隔は1～2メートル程度あけさせる。更衣室の利用も一度に大人数にならないようにし、短時間にさせる。他人との身体接触を避けさせる。
  - カ 出場校の顧問は、事前に配布する「参加承諾書」を提出させる。
  - キ 当日は、発熱等の症状が見られる参加者はすみやかに退出させ帰宅させる。
  - ク 大会に参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に連絡をとり、症状の確認をし、場合によっては保健所などの公的機関に連絡を取る。
  - ケ 大会に参加した選手、役員は、保健所などの聞き取りに協力する。また濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機する。
  - コ 競技や練習中の水分補給に関しては、チーム共用を避け、個人のものを使用する。
  - サ 飲み物は各自用意する。
  - シ 各自のゴミは持ち帰る。（マスク、鼻水、唾液などが付いたもの、食べ物のゴミなど）
- (2) 当日、参加者に発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応
- ア 発熱等の症状がみられる場合、大会への参加を認めない。（事前に注意喚起しておく）
  - イ 当日、急に症状が出た場合には、顧問または団体所属長が保護者に連絡し帰宅させる。
  - ウ 引率者には、他の参加者の健康観察を徹底させる。

### (3) 応援について

拍手のみでの応援にする。大声での応援はしない。

※ その後、コロナウイルスに感染したことが確認された場合は、各学校や行政機関の指示に従う。その後の大会等について中止することがある。

### 3 大会への申込について

- (1) 顧問は、事前に選手及び保護者から大会参加への「参加承諾書」と「参加同意書」を配布する。校長の責任のもとに申し込みを行う。同意書は各自参加者が当日会場へ持参する。承諾書と同意書は各所属団体に保管する。
- (2) 大会への参加を強要することがないように配慮すること。

以上